

— 令和元年度東京鶴城会総会・懇親会でお待ちしています！ —

## ごあいさつ

会員の皆様、お変わりございませんか。  
 新しい元号「令和」が決まり、2019年5月1日より施行されます。ふりかえると平成は、バブル崩壊と共に災害は毎年のように日本中を襲いました。災害にあわれた人達は未だに後整理におわれている人もたくさんおられると思います。  
 新しい元号がすべてを変えてくれるとは思いませんが、平和で穏やかな世界を望むものです。

それと母校が、大正9年5月に熊本県立宇土中学校として設立認可されてから、令和2年に100周年を迎える事であります。誠におめでたいことです。同窓会事業に携わっている方々は、皆様のご支援を望んでいると思いますので、何卒ご協力ご賛同をお願い申し上げます。

東京鶴城会会長 田中幸資（昭和38年卒）

東京鶴城会便り

発行責任者  
田中幸資

## ついに誕生！ 東京鶴城会マスコットキャラクター。その名は？？？

東京鶴城会にマスコットキャラクターが誕生しました。その名称は、「**T.カクジョーくん**」（ひらがな表記：ていーどっとかくじょーくん）です。

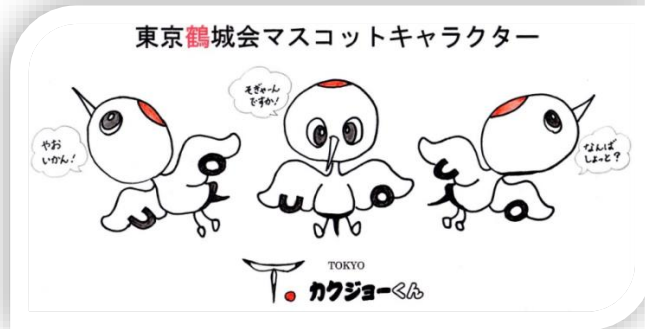
昨年10月の幹事会で、東京鶴城会のマスコットキャラクター作成について、議案として話し合わせ、満場一致で承認されました。デザインは、宇土高のシンボル・「鶴」(ツル)と

「宇土」の「UTO」を組み合わせ、愛らしい表情に仕上げました。名称の「T」は、東京(Tokyo)の頭文字です。

今後、同会の広報紙・『東京鶴城会便り』（紙面上&Web上）等での掲載や関連グッズの製作・販売等を通じて、国内外での知名度アップを目指し、今や世界的に有名になった、あの「くまモン」に“1cm”でも近づきたいと思っています。会員の皆様におかれましては、宇土高クラス会の案内に掲載等、同マスコットキャラクターの知名度アップのために、ご理解とご協力を何卒よろしくお願い申し上げます。

東京鶴城会事務局 坂崎守寿

是非、総会にご参加ください。  
 今年も東海大学校友会館で、楽しいひと時をご一緒にしましょう！



## 平成30年度東京鶴城会フォトコレクション



楽しいイベント、大くじ引き抽選会等で満喫した時間をお楽しみいただけます！



## 平成28年(2016年)熊本地震に思う

(前号よりつづき)

今回の地震は、祖父母たちにも多大なる影響を与えた。やや認知症がはいっている二人であるが、自宅では介護困難ということで、叔母が勤めている介護施設に偶然空きがあって短期入所させてもらった。大きな地震があったことは分かっているようだが、急な環境の変化に対応できず、いろいろな意味で“不穏”な生活を強いられていた。叔母から祖父が胸が痛いと言っている、と連絡があった。診察をすると明らかな異常は見当たらない。聞けばいろいろ心配という。確かにそうであろう。われわれでも慣れないなか、戦争も経験し90近くまで生きてきてのこの出来事は、祖父母にとって非常に酷な体験である。できることは話を聞いてあげることだけだが、認知症のためか、すぐにまた心配がこみ上げてくる。

地震後、報道各社はこぞって現地の中継を行っていたが、本当に知りたい情報は皆無に等しかった。今回の支援がうまくいった、っていないの議論はいつもされるが、現場

が混乱し情報が錯綜する中では仕方がない。しかし、昨今のSNSの普及は、災害が起きた中では、非常に有用なツールであることを実感した。すぐに情報提供が可能であるうえ、安否確認もできる。日々地元の被害状況をテレビでチェックしている自分のほうが情報通であった。確かに地元に戻ってみると、悠長にテレビを見ている場合などないのが現状である。

次はこっちの番だ。東日本大震災から8年。良くも悪くも人間の記憶は月日とともに薄れてくる。あれほど節電！節電！と言っていたのに、いつものようにネオンが眩しい。父親が「まさか被災者になるとは」と言っていたのが記憶に残っている。人は痛い目に合わないといふ重い腰が上がりづらい。病気になってから予防を実践しても遅い。近い将来“来る”と言われても実感がわからない。地震への心構えについて、いつものように、親に教えを乞うようかと思う。(本原稿は浅草医師会報にも掲載しています)

内山 伸(平成5年卒)

## 「いだてん」の故郷を訪ねて

今年のNHK大河ドラマ「いだてん」を毎週楽しみに観ています。主人公の一人である「金栗 四三(かなくり しぞう)」さんは、熊本県玉名郡春富村(現・和水町)のご出身で、日本人初のオリンピック選手、そして「日本マラソンの父」と称された、熊本が誇る伝説のランナーでもありません。

今年3月、熊本(宇城市小川町)に帰省した際、実家の兄から「どこか、行きたいところあるや？」と聞かれて即答しました。「金栗四三さんのゆかりの地・玉名に行ってみるか」と。その30分後には、兄と2人で車に乗って、「いだてん」の地へ、いざ出発。実際に訪れた場所は、「金栗四三ミュージアム」、「金栗四三生家記念館」、「いだてん 大河ドラマ館」の3ヶ所(添付写真)でした。どれも見応えがあり、思い出に残る感動的なものばかりでした(詳細は割愛いたします)。特に、金栗四三さんの実家(築200年以上)は現存しており、ご本人が使っていた「学校部屋」は圧巻でした。

毎年、正月の風物詩・「箱根駅伝」は、欠かさず観ていますが、この箱根駅伝の創設にも、金栗さんは深く関わっています。金栗さん抜きでは、日本のマラソンや駅伝は語れません。“百聞は一見にしかず”と言います。是非、NHK大河ドラマ「いだてん」の最終回の放送日までには、金栗四三さんのゆかりの地・玉名を訪れて、偉大な郷里・

熊本の大先輩の残された功績を存分にご堪能ください。そして、「天琴ラーメン」(玉名市内)も是非、味わってください。大河ドラマ「いだてん」の撮影で玉名を訪れた、超有名な俳優さんのお薦めのお店です。

坂崎守寿(昭和55年卒)



### 【幹事会・事務局からのお知らせとお願い】

今後とも会報『東京鶴城会便り』を故郷の風と香りと共に、可能な限り続けたいと思います。以下、お知らせとお願いです。

#### (1) 会報の原稿を常時募集します。

・あの時・故郷のこと・あんな人等テーマは自由です。お気軽にご投稿ください。ご感想等もお待ちしております。

#### (2) 住所、氏名などの変更は是非ご連絡ください。消息をご存知の方もお知らせください。

・連絡がないと途絶えてしまいます。取扱いには十分注意いたしますので、同期会などの名簿をご提供願います。

#### (3) 年会費、広告、寄付をお願いします。

・年会費が活動のベースですが、単年度の収支は赤字の状況です。現在はわずかな繰越金で維持しています。

#### (4) 総会・懇親会への出席をお待ちしています。

・同期、知り合いをお誘いの上ご来場ください。お一人様も、もちろん大歓迎です。

◆連絡先は、封筒の差出人(事務局)へ。原稿は下記メール・アドレスにお願いいたします。

Email: 坂崎 mori.reds-041205@jcom.home.ne.jp



## 熊本?宮崎?鹿児島 観光列車の旅

銀行OL時代の仲間との年に一度の旅行も今回で7回目。今年も再度、指宿へ熊本から山越えて観光列車を乗り継いで行きました。

まず去年3月就航した「カワセミ ヤマセミ」流石に車内は美しくカワセミ やヤマセミの写真も随所に掛けてあり、球磨川の流れを眺めながら楽しみました。

人吉からは「いさぶろう しんぺい号」、吉松からは「はやとの風」、鹿児島中央から指宿までは「たまたま箱」と観光列車4本乗り継いで指宿まで。



途中の車窓からは日本三大車窓と言われる山々の景色を眺めながら肥薩線走る「いさぶろう しんぺい号」の中では嘉例川駅でしか売ってない駅弁「百年の旅物語 嘉例川弁当?」に舌鼓を打ちながら、相変わらずお喋りは止まらず、宇土から指宿までのんびり約7時間半の観光列車の旅を楽しみました。

指宿白水館では砂風呂も楽しみ、夜の宴会も盛り上がりました。



翌日は鹿児島市内観光、タクシーの運転手さんが今まで参加者の誰も行った事ない桜島が良く見える絶景の展望所に案内してくれました。鹿児島中央駅でお土産を買い帰りは新幹線でサクッと帰路に着きました!

日頃の疲れやストレスも笑ってお喋りする事で解消できる楽しい旅でした。



企画 添乗 昭和47年卒  
六本木 祐子 (旧姓 萩原)

### 法律问题でお悩みがあれば、ご遠慮なく ご相談ください。

[取扱分野：労働問題、企業法務、特許、相続、  
その他一般民事事件]

弁護士 伊藤 尚 (いとう ひさし、平成11年卒)

奥川法律事務所  
東京都千代田区永田町2-4-3  
永田町ビル8階 奥川法律事務所  
TEL：03-3580-6358

※宇土高校の卒業生またはその関係者の方には、  
初回法律相談料無料にてご相談をお受けいたします。



# 高校時代の記憶と 東京鶴城会のわずかな 思い出

私が属しているのは宇土高39（さんきゅう）会です。この会は、関東地域に居住する宇土高昭和39年3月卒業生の集まりです。最盛期24名で現在は18名です。

私が上京して来た頃、我々は同窓会の中でも若い年代でしたが、現在は年齢が73歳前後の高齢者群になります。私本人としては、同窓会活動は疎遠ですが、記憶に残る総会は南極の氷塊を会場で食べたことです。卒業生の南極観測船隊員が帰国後、会場持ち込み、小割にしたものでした。

高校時代を振り返れば、終戦後の「銭は無いが活気のある時代」でした。実家は国鉄三角線沿いの小さな半漁半農集落の中でした。学校の教育方針が「勤労を通して人間を造る」「箸(はし)取らば雨土(あめつち)御世(みよ)の御恵み(おんめぐみ)、祖先や親の御恩(ごおん)味わえ、いただきます」

当時は三角線通学以外の学生達は自転車通学が多数を占めていました。荷台に雨カッパをくくりつけ、砂利道を力強くペダルを踏んでいました。

隈庄の手前に木原不動尊があります。私は上京に際し、不動尊お守り袋を入手しました。外側袋は劣化廃棄しましたが、今でも「身代不動」と焼印された木札を財布に入れてあります。信仰心は希薄なれども、木札を魔除けと考えて、大事にしています。

宮本 憲（昭和39年卒）



↑ 高校正門前の道路も砂利道でした。



←お守り袋の中の木札：健康寿命でいられる有難さを感じています。

## 星になった友

今年も桜花の満開の便りがきた。あたりがほんのり明るくなってきたが真冬を思わせる花冷えの早朝、ラジオから湯原昌幸の「星になるまで」という新曲が聞えてきた。

「短いね 百年足らずの人生で 何が残せるか・・・」なんていう歌詞のはじまり。初めて聞いた歌だったがなんか胸に響いた。

一年生春の高校の修学旅行の時、「雨のバラード」なんていう歌を口ずさみながら京都や東京といった、はじめて観る大都会に興奮しながら歩き廻ったことが思い出される。たかがまだ60年余りの俺たちの人生。昨年晩秋に突然、星になってしまった鶴城会同級生の友 小山君よ。そっちに行くのが早すぎだよ。俺はいろいろ事情があってまだまだ当分こっちで頑張ってみるよ。「天上から眺める景色はどぎゃんな？」夏には東京駅前のオシャレなお店で幹事会の打ち上げに同席して元気に酒のお代わりにしていたのに・・・。

宇土高時代はお互い運動部で、顔は知っとったばってんクラスもいっしょになったことはなかし、話したこつもなかったたいね。東京鶴城会に出席して話すようになって、よく「近くに來たけん寄るね！」と営業廻りの途中で仕事場に來てくれたたいね。

「ちょっと外に出られる？」と私の仕事場の近くの喫茶店へ出かけていき、酒でなく〈笑〉コーヒーを飲みながら語りあったね。

日本人の平均寿命が男性81、女性87歳超えになってる昨今、ほんなこつ、どっちかという慎重派の君を知ってるだけに、「はあ？」でした。奥さんの話したと最後は「ありがとう」「かあちゃん、ごめんな」だったそう。くやしいね。

私は天草のドイナカの野釜島、君はちょっと都会（笑）の走湯出身で宇土高に進学しなければ、東京鶴城会に來なければ、なかった人間関係でした。人生いろいろだったけど残ったオレは健康管理に気を付けながら前向きにまだまだ、がまだすよ。

森内忠美（昭和50年卒）





前回の同期同窓会は卒業50周年を記念しての実施でした。今回はそれから4年後の開催となりました。おりしも熊本では震度7の大きな地震が発生し、同期会を切望する声が大きくなる中での開催でした。

開催日時は平成30年10月17日、会場はザ・ニューホテル熊本、参加者は81名でした。この同期会の開催にあたっては、多くの同期生皆さんの尽力がありました。事務局の永里孝二君、学年同窓会実行委員長の朽木輝道君、各組の世話人の皆さん大変お世話様でした。



先ずは同期生の逝去者に黙とうを捧げました。司会進行は6組の吉田道弘君と松本（大槻）久美子さん開催の挨拶は朽木輝道君から始まり、事務局の永里孝二君から宇土高校100周年の案内がありました。



次に卒業時5組担任の高島等先生から挨拶を頂き、1組の阿曾田清君から乾杯の発声がありました。



81名の参加者全員をテーブル毎に紹介して、盛大な同窓会が開催されたことを報告します。  
 卒業から54年の年月は長いものです、姿かたちは変わっても会話は高校時代に後戻りし、青春時代の良き思いが戻ってきた様です。参加者の名簿に各テーブル名を表記しましたので参加できなかった方は参考にしてください。

Aテーブル



Bテーブル



Cテーブル



Dテーブル



Eテーブル



Fテーブル



Gテーブル



Hテーブル



Iテーブル



会合の合間には各組の余興が披露されましたが、紙面の関係で割愛します。  
 高校卒業時とは見違えるほど皆さんの変貌ぶりで、誰が誰か？見分けがつきませんが、以下の出席者名簿を参考にしてください。

## 宇土高校17回卒同窓会2018年出席名簿（確定出席81名）

宇土高校17回卒同窓会2018年出席名簿（確定出席81名）														
	姓	名	旧姓		姓	名	旧姓		姓	名	旧姓			
TB	1組			TB	2組			TB	3組					
1	A	阿曾田	清		1	A	園村	義晴	菊池	1	G	旭	啓之	
2	A	永井	秀夫		2	A	桑原	民主		2	G	稲葉	修一	
3	E	中園	久道		3	F	鉄石	憲一		3	H	嘉悦	力	
4	E	西川	勇		4	F	山崎	典義		4	H	清見	登喜夫	
5	E	西嶋	彰		5	F	吉田	正司		5	H	吉永	栄治	
6	F	西本	清		6	A	元田	清子	飯田	6	H	吉田	忍	
7	F	松原	憲彦		7	A	梅田	静子	梅田	7	G	平野	道子	岡崎
8	E	川上	明美	芥川	8	A	西田	幸代	小泉	8	G	芝田	ヒロ子	櫛山
9	E	上村	清子		9	E	高村	俊子	田中	9	H	栗原	律子	佐久間
10	F	富田	侁子	本田	10	E	今村	京子	富永	10	G	高濱	喜美子	長谷
11	F	渡辺	智恵子		11	F	小山	朝代	本田	11	G	森本	邦子	前田
					12	F	小山	瑠美子	宮原	12	H	岡野	康子	水口
					13	A	三輪	クミ子						
TB	4組			TB	5組			TB	6組					
1	B	岩野	一昭		1	C	上村	秋生		1	I	石原	豊彦	
2	D	上村	忠		2	C	坂口	悦郎		2	H	河野	浩士	
3	C	佐伯	和春		3	C	園田	秋好		3	I	河野	毅	
4	C	高野	文哉		4	D	角田	雅春		4	G	草野	研一	
5	B	田添	英明		5	D	新田	誠也		5	H	境屋	由夫	
6	D	中村	雄一		6	D	矢野	信行		6	I	永里	孝二	
7	B	萩原	英敏		7	B	米澄	謙介		7	G	那須	吉成	
8	D	松原	茂		8	B	水本	利恵子	一ノ口	8	I	西川	清一	
9	B	源	重浩	慈円	9	D	松本	章子	伊藤	9	I	堀野	正己	
10	B	直江	嶺子	岡島	10	C	田添	一子	岩永	10	I	三輪	節生	
11	D	本田	孝子		11	C	藤井	憲子	谷川	11	G	吉田	道弘	
12	B	奥村	富士代	前田	12	D	坂口	美穂子	谷川	12	I	濱田	信子	伊藤
13	B	野村	寿美子	村上	13	B	小田	潔		13	H	松本	久美子	大槻
					14	C	朽木	輝道		14	H	村上	律子	中川
<b>TB:C 来賓 高島 等 先生</b>					15	D	佐藤	悦子	戸内	15	I	松野	啓子	松永
										16	I	月足	麗子	上村

TB:A8名 B10名 C9名 D10名 E7名 F9名 G9名 H10名 (I)9名

**合計81名**

**太線枠内**

の方は実行委員会と各組世話人の皆様です、お役目ご苦労様でした。

特記：会費の一部から宇土高校100周年に寄附金を寄贈しました。



## 総会・懇親会へのご出欠をお知らせ ください!

下記①～③より、いずれか一つご都合のよい方法にてお知らせ願います。

### ① 出欠回答アンケート（インターネット）

<https://forms.gle/z2rS7VZ6ULSEq3no8>

※上記URLは、英大文字・小文字を区別してご入力願います。

※スマートフォンの方は、右記QRコードを読み取って頂くと便利です ⇒



### ② 鶴城会事務局宛（メール）

坂崎 mori.reds-041205@jcom.home.ne.jp

### ③ 同封の返信ハガキ（郵送）

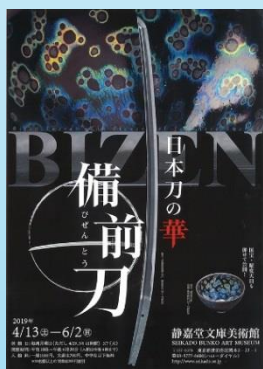
## 茶碗の中の小宇宙

茶碗の中に広がる、きらびやかな瑠璃色の斑紋が印象的な曜変天目茶碗。某鑑定バラエティ番組の解説映像などで、ご存知の方も多いかもかもしれません。

この春、国宝指定の3碗が東京・奈良・滋賀の各美術館で同時公開中です。東京は二子玉川・静嘉堂（せいかどう）文庫美術館『日本刀の華 備前刀展』（～6/2）にて。

実物からは、映像・写真とは異なる感動や気付きを得られる事もございます。ご興味がある方は、ご散策を兼ねていかがでしょうか？

◆曜変天目（ようへんてんもく）茶碗：  
12～13世紀に中国福建省で焼かれ、室町時代では喫茶茶碗の最高峰に位置付けられていました。



浅沼 信雄（平成9年卒）



## 《編集後記》

新しい元号が、万葉集の「梅花の宴」を典拠とする《令和》に決まりました。

三十年間続いた平成への名残り惜しさもございますが、令和元年が皆さまにとって

よき年となりますことを祈念いたしております。



## — 新たな風 —

近年のご卒業生を紹介させて頂くコーナーです。

平成22年卒の坂崎です。大先輩の方々がいらっしゃる中、私のような若い世代の現状報告がございませんでしたので、この度は僣越ながら投稿させていただきます。

高校時代は野球部に所属しておりまして、宇土高野球部の試合結果は毎年チェックしております。高校卒業後、大学進学のため上京し、当時は板橋区に住んでおりまして、四年間勉学に励みました。

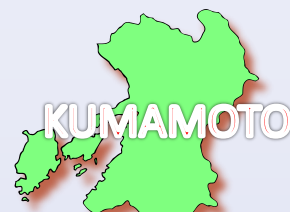
大学卒業後はドイツ車ディーラーに就職し、初めての社会人生活に戸惑うことも多かったですが、会社の先輩方にサポートして頂きながら、3年間勤務致しました。今でも外車は好きなので、外車が好きな方は是非お声掛け下さい。

現在は証券会社に勤務しておりまして、常に新しい情報が飛び交う中、日々業務に励んでおります。心身共に疲れてしまいそうになる事もありますが、高校野球時代の厳しい練習を思い出すことで後ろ向きになることなく、前向きに仕事と向き合うことが出来ております。

拙い文章で大変恐縮ですが、今後私達の世代からも情報発信していければと思っております。

坂崎 雄基（平成22年卒）

## 熊本弁講座 - 「ち」編 -



創刊号からシリーズ化した熊本弁講座ですが、益々、好評につき、今回は「ち」編です。どうぞ声に出して、熊本弁を懐かしんでください。

- ①「ちった、ちーった」（少しは）  
「明日は試験ばい。ちった勉強せんか！」  
（明日は試験だぞ。少しは勉強なさい!）
- ②「ちのじ」（一緒に）  
「さびしかけん、ちのじ行ってくれんや」  
（さびしいので、一緒に行ってくれないか）
- ③「～ちゅう」（～という）  
「あん店は、たいぎやなうまかちゅう話ばい」  
（あそこの店は、とても美味しいという話だよ）
- ④「ちょちょくる」（からかう）  
「大人ばちょちょくんやよ！」  
（大人をからかうなよ!）

It's a Kumamoto Dialect.